

地域日本語教室運営者・コーディネーター向け研修/国際交流ラウンジ協議会日本語分科会合同研修会

## 多様性をいかした、自分達らしい教室運営を考えよう

～地域日本語教育の“あるある”シミュレーションゲームを使って～

実施報告書

主催：公益財団法人 横浜市国際交流協会

横浜市内の地域日本語教室の運営やコーディネートを行う立場にある人達が、日本語教室での活動を振り返り、また、参加者同士の情報交換等を通じて、気づきや学びを得、今後のより良い活動につながることを目的に今回の研修会を行いました。

立場の異なる人が対等に話し合う体験をもち、多様な価値観を知るとともに、多様性をいかした教室運営へのヒントを得ることに期待し、シミュレーションゲーム「ANADO(アナドゥ)」(注：説明裏面)のゲーム体験と、それに基づく意見交換を行いました。また、講師からはグループ運営やボランティアコーディネーションについてお話いただきました。

参加者からは「ボランティアのことなど、所属の教室の問題と重なる点が多く学ぶことが多かった」「いろいろグループの方々たくさん話できる機会はとても勉強になった。それぞれの問題、共通の問題について、もっと踏み込んだ話がしたい」などの感想が寄せられました。

また、講座には、インターンシップの大学(院)生3人が、スタッフ兼参加者として参加しました。学生の立場から「目上の方々が向上心に溢れ努力している姿を見て、私も好きなことには意欲的に挑戦したいとパワーをもらいました。」と、世代を超えた交流の場ともなったようです。



講義の様子

講師

妻鹿ふみ子さん

(東海大学健康学部教授、  
認定NPO法人日本ボランティアコーディネーター協会  
代表理事)

日時

2023年2月16日(木) 10:00~12:30

場所

横浜国際協力センター 6F 共用会議室

対象

- ・横浜市内の地域日本語教室の運営やコーディネートを行う立場にある人
- ・日本語支援での企画運営等のコーディネートを行う人

参加者数

24人  
(うち、国際交流ラウンジ4人)

主催

公益財団法人 横浜市国際交流協会 (YOKE)



ANADOゲームで意見交換



よこはま日本語学習支援センター

Yokohama NIHONGO Support Center

<https://yokohama-nihongo.com>

運営：公益財団法人 横浜市国際交流協会(YOKE)

地域日本語教育に関わる方や関心のある方  
日本語学習をしたい方

「知りたい・やってみたい・つながりたい」  
をサポートします！



地域日本語教室運営者・コーディネーター向け研修/国際交流ラウンジ協議会日本語分科会合同研修会

## 多様性をいかした、自分達らしい教室運営を考えよう

～地域日本語教育の“あるある”シミュレーションゲームを使って～

実施報告書

主催：公益財団法人 横浜市国際交流協会

講義1  
日本語グループ  
の運営、どう  
していますか？



講師から、ボランティアグループ運営についての話を聞きました。グループも小さい組織であり、変化するもので、活動の経過による変化（ライフサイクル）のこと、ボランティアグループの特質について、活動の意義や意味、役割分担の必要性などのお話から、「自分が所属する日本語教室は？」とふりかえるきっかけとなりました。

ANADO体験  
あなたならどう  
する？



シミュレーションゲーム「ANADO」(注)を体験しました。ゲームにある多くのテーマのなかから「ボランティア」「教室代表者」「外国人学習者」「新人ボランティア」の立場を選び、事例の解決を考えながらグループでの意見交換をしました。同じ事例に対して多様な考えや意見があり、答えは一つでないこと、いろいろな観点があることに気付くとともに、教室で起こるあれこれについても話題が発展しました。

(注)「ANADO(アナドゥ)」とは：地域日本語教育の現場で起こりうる困難や葛藤などについて、他のプレイヤーと意見交換しながら、課題解決のプロセスを体験することを目的とし、北九州国際交流協会が開発したシミュレーションゲームです。

グループワーク  
ANADOとあなたの  
教室を結び付けよう

ゲームを受けたグループワークでは、ゲームに関連したトピックから「日本語学習の方法」「ボランティア(ボランティアの役割、ボランティアの不足など)」「教室の運営」の3つのテーマでグループを作り、話し合いました。全体共有では、出た意見を紹介しました。多様な意見を聞くことができました。発表内容の例です。

- ・「教室の運営」グループ：分担するために、代表以外に副代表・会計・監査などを置く／責任者(代表)決定は順番制にしている／若いボランティアを育てるために
- ・「日本語学習の方法」グループ：開催方法(対面・オンライン・併用)
- ・「ボランティア」グループ：高齢化・若い人の参加が少ない現状／募集方法の工夫／人数に合わせた活動方法の工夫

講義2  
多様性をいかした  
自分達らしい教室運営  
のためのヒント



グループワークでの質問や課題に答える形で、講師の講義がありました。自分達らしい教室運営のためのヒントとして、ボランティア活動を支える、ボランティアマネジメントやボランティアコーディネーションの紹介がありました。学習者ニーズを考えることはもちろん大事ですが、ボランティア自身の目的ややりがいなど、心理要因にも目を向けるとよいことなども学びました。ボランティア・スタッフ・利用者3者のニーズがオーバーラップする部分を探ることなど、様々なヒントを得ることができました。



よこはま日本語学習支援センター  
Yokohama Nihongo Support Center  
<https://yokohama-nihongo.com>  
運営：公益財団法人 横浜市国際交流協会(YOKE)

地域日本語教育に関わる方や関心のある方  
日本語学習をしたい方

「知りたい・やってみたい・つながりたい」  
をサポートします！

